

扶養手当細則の一部を改正する細則を次のように定める。

(令和4年10月19日学長裁定)

扶養手当細則の一部を改正する細則

扶養手当細則（平成16年学長裁定）の一部について、下表右欄（「現行」欄）を、同表左欄（「改正後」欄）のように改正する。

※下線部分は改正箇所を示す。

改正後	現行
<p>(略)</p> <p>(支給できない場合)</p> <p>第5条 扶養手当は、職員が次に掲げる場合に該当するときは、その期間中支給しない。</p> <p>(1) 国立大学旭川医科大学職員就業規則（平成16年旭医大達第160号）第37条第1項第3号の規定に基づき停職にされた場合</p> <p>(2) 旭川医科大学教職員育児休業・介護休業規程（平成16年旭医大達第166号）第5条に<u>基づく</u>育児休業<u>又は第15条の2の規定に基づき</u>出生時育児休業をしている場合</p> <p>(略)</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>この細則は、令和4年10月19日から施行し、改正後の第5条第2号の規定は、令和4年10月1日から適用する。</u></p> <p>別紙様式1（第3条関係）</p> <p>(略)</p> <p>別紙様式2（第4条第2項関係）</p> <p>(略)</p> <p>【改正理由】</p> <p>新設される出生時育児休業に対応するため、所要の改正を行うものである。</p>	<p>(略)</p> <p>(支給できない場合)</p> <p>第5条 扶養手当は、職員が次に掲げる場合に該当するときは、その期間中支給しない。</p> <p>(1) 国立大学旭川医科大学職員就業規則（平成16年旭医大達第160号）第37条第1項第3号の規定に基づき停職にされた場合</p> <p>(2) 旭川医科大学教職員育児休業・介護休業規程（平成16年旭医大達第166号）第5条の規定に<u>基づき</u>育児休業をしている場合</p> <p>(略)</p> <p>別紙様式1（第3条関係）</p> <p>(略)</p> <p>別紙様式2（第4条第2項関係）</p> <p>(略)</p>